

平成22年3月期 第2四半期決算説明資料



株式会社フジトミ



JASDAQ上場：証券コード8740

目次

企業集団の状況	...	1
事業所	...	2
平成22年3月期第2四半期決算について／表紙	...	3
平成22年3月期第2四半期決算の概要	...	4
事業の種類別セグメントの業績概要	...	5
業績概況(連結)	...	6
貸借対照表(連結)	...	7
業績推移(連結)	...	8
＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)	...	9
＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移(連結)	...	10
＜エコ&エコ＞四半期営業収益の推移	...	11
＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳(連結)	...	12
＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳(連結)	...	13
平成22年3月期業績予想について／表紙	...	14
平成22年3月期業績予想(連結)	...	15
当社グループの取り組み	...	16

本資料は、平成22年3月期の第2四半期業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、9月30日時点でのデータを元に作成しております。

企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社2社により構成されております。また、親会社(株)小林洋行が当社株式の51.79%を保有しており、当社グループ及び親会社は、商品先物取引を主たる業務としております。

当社グループの事業内容は次のとおりであります。

(1) 投資関連サービス事業

① 商品先物取引業

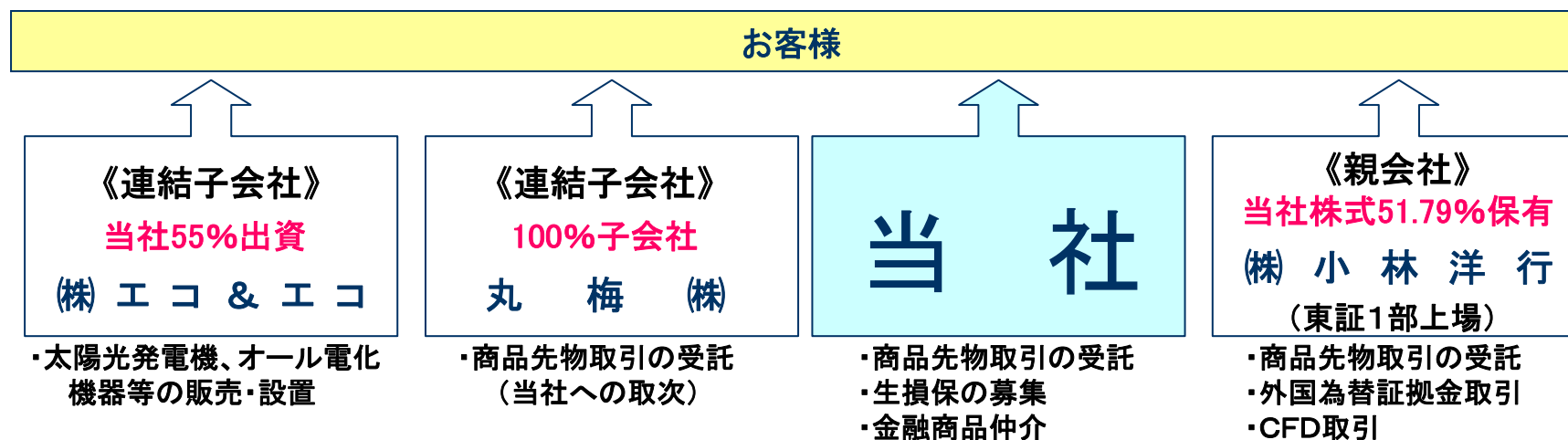
当社及び子会社丸梅(株)が、商品取引所法に基づき設置された商品取引所が開設する商品市場に上場されている各種の商品先物取引について、顧客の委託を受けて売買を執行する業務(受託業務)及び自己の計算に基づき売買を執行する業務(自己売買業務)を行っております。

② 保険募集業務

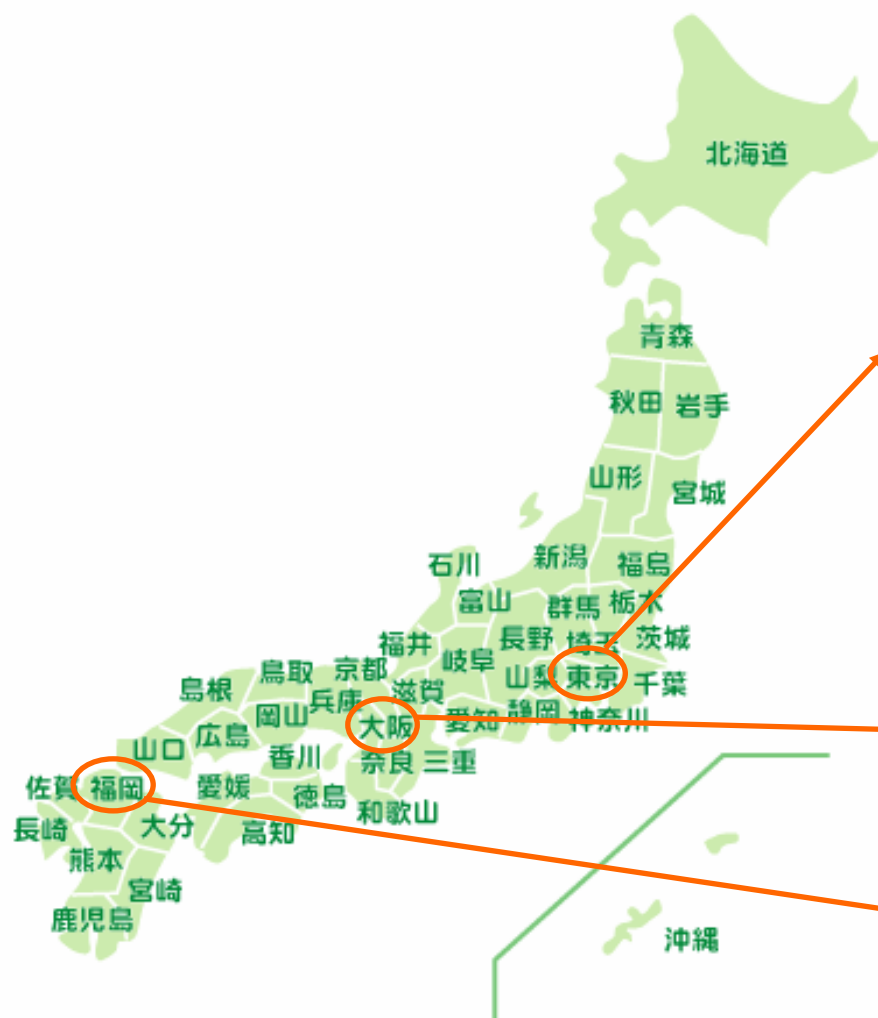
当社が、生命保険の募集業務及び損害保険代理店業務を行っております。

(2) 太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業

子会社(株)エコ&エコ(平成20年6月設立)が、平成20年7月から太陽光発電機・オール電化機器等の販売及び設置工事を行っております。



事業所



<東京地区>

本 社：東京都新宿区大久保1-3-17

子 会 社：丸梅株式会社

東京都中央区日本橋兜町7-2

子 会 社：株式会社エコ&エコ

(本社)

東京都中央区日本橋小網町18-6

(京セラソーラーFC新宿)

東京都新宿区大久保1-3-17

<関西地区>

大阪支店：大阪市中央区難波4-4-4

<九州地区>

福岡支店：福岡市中央区天神2-14-13

平成22年3月期 第2四半期決算について



平成22年3月期第2四半期決算の概要

<市場環境>

わが国の商品先物取引市場におきましては、平成16年の商品取引所法の改正以降、商品取引員に対する勧誘規制の強化などで、市場規模の縮小が続いており、景気低迷等による個人投資家の市場離れも進み、当第2四半期(6ヶ月)の全国商品取引所の出来高合計は、1,662万枚(前年同期比35.3%減)と引き続き大きく落ち込みました。また、7月3日に成立した改正商品取引所法により、更なる勧誘規制の強化が決定し、商品取引員は大幅な営業改革を迫られることとなりました。

太陽光発電に関しましては、国や自治体の補助金制度に加え、固定価格買取制度の導入など、普及促進策が拡大しておりますが、これに伴い、大手家電量販店の本格参入などにより、販売競争が激化しております。

<当社グループの営業成績>

このような環境のなか、当社グループは、商品先物取引業の収支バランス回復のため、人件費を中心とした営業費用の削減に努める一方、商品先物取引市場への依存度引下げを図るため、太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業及び保険募集業務の営業体制の整備を鋭意進めました。

しかしながら、商品先物取引業の急速な営業収益の減少に営業費用の削減が追いつかず、当第2四半期(6ヶ月)の連結業績は次のとおりとなりました。

営業収益	697百万円(前年同期比31.6%減)
営業費用	1,039百万円(前年同期比13.5%減)
営業損失	507百万円(前年同期は営業損失196百万円)
経常損失	476百万円(前年同期は経常損失158百万円)
四半期純損失	482百万円(前年同期は四半期純損失231百万円)

事業の種類別セグメントの業績概要

<事業の種類別セグメントの業績>

1.投資関連サービス事業

当第2四半期(6ヶ月)の投資関連サービス事業の営業収益は480百万円(前年同期比52.0%減)、営業損失483百万円(前年同期は営業損失176百万円)となりました。なお、営業費用は964百万円(前年同期比18.0%減)となっております。

①商品先物取引受託業務

市場規模の縮小に伴い、引き続き低調に推移し、当第2四半期(6ヶ月)の受取手数料は、424百万円(前年同期比31.6%減)となりました。

②商品先物取引自己売買業務

市場の流動性低下による不安定な相場環境等により、当第2四半期(6ヶ月)の売買益は、35百万円(前年同期比90.4%減)と大幅な減収となりました。

③保険募集業務

福岡オフィスの開設(平成21年2月)など、営業体制の強化を進めた結果、当第2四半期(6ヶ月)の受取手数料は18百万円(前年同期比117.6%増)となりました。

2.太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業

国や自治体の補助金等の普及促進策により受注は増加しているものの、販売競争の激化や、急速な需要増加による太陽光発電パネルや部材の入荷期間長期化などの影響もあり、当第2四半期(6ヶ月)の業績は売上高217百万円、営業損失26百万円となりました。(工事受注高256百万円、期末工事受注残72百万円)

なお、営業基盤強化の一環として、京セラソーラーコーポレーションとFC契約を締結し、当社本社ビル1Fに「京セラソーラーFC新宿店」を10月23日にオープンいたしました。

業績概況（連結）

（単位：百万円）	H20. 9期	H21. 9期	対前年増減率
営業収益	1,020	697	△31.6%
内 受取手数料	629	443	△29.6%
営業利益	△196	△507	—
経常利益	△158	△476	—
四半期純利益	△231	△482	—
一株当たり四半期純利益	△33.70円	△70.38円	—
一株当たり純資産額	857.85円	734.13円	△14.4%
自己資本比率	60.3%	69.8%	9.5%

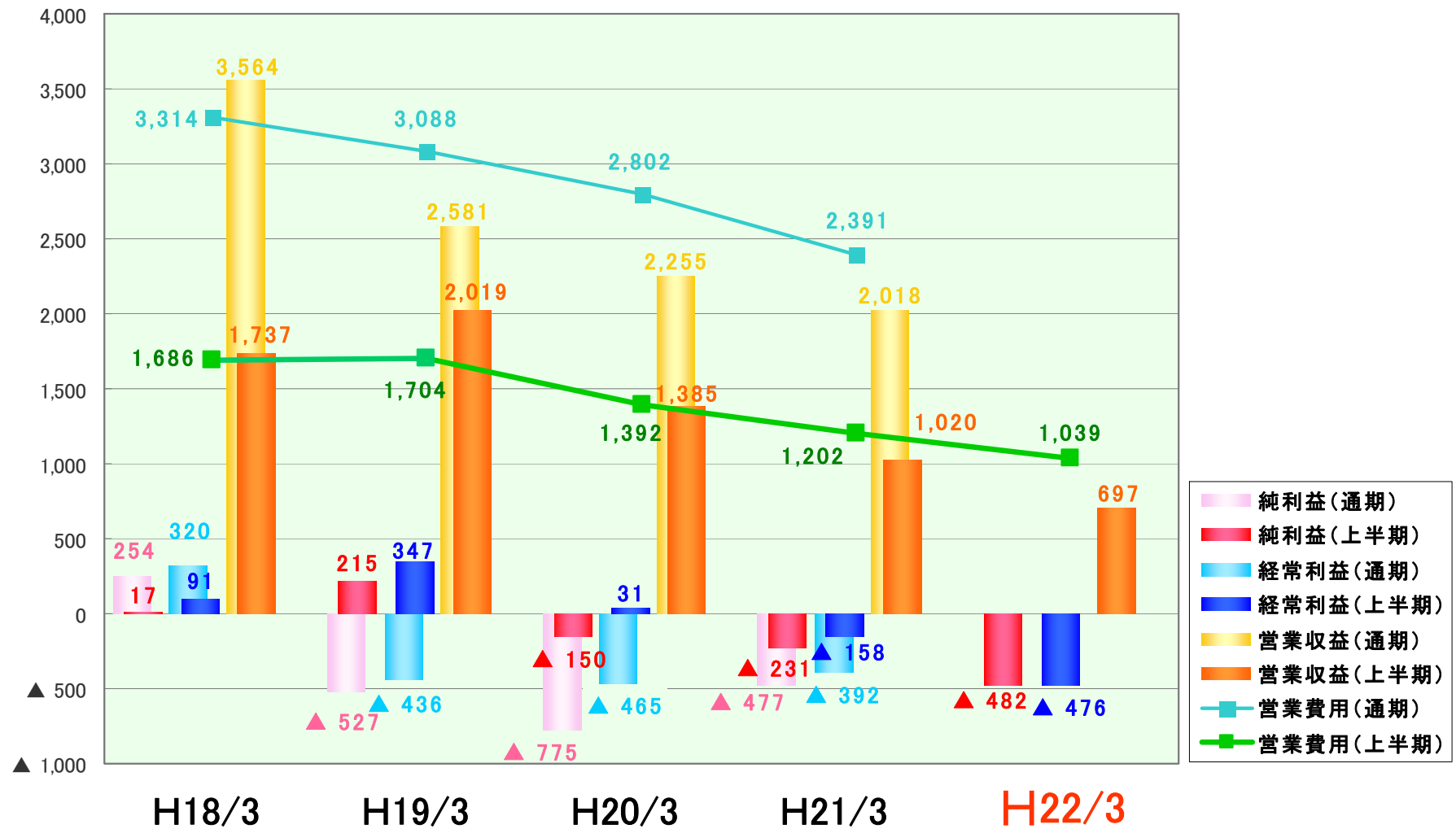
（注）業績数値は、各4月～9月（6ヶ月）の累計実績です。

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	H20. 9期	H21. 9期	対前年増減率
流動資産合計	6,871	4,541	△33.9%
内 現金及び預金	3,478	2,596	△25.3%
固定資産合計	2,883	2,672	△7.3%
内 投資有価証券	521	360	△30.8%
内 投資不動産	867	855	△1.3%
資産合計	9,755	7,214	△26.0%
流動負債合計	3,216	1,611	△49.9%
内 預り証拠金	2,997	1,450	△51.6%
固定負債合計	555	502	△9.5%
負債合計	3,870	2,177	△43.7%
純資産合計	5,884	5,036	△14.4%
内 その他有価証券評価差額金	135	66	△50.6%

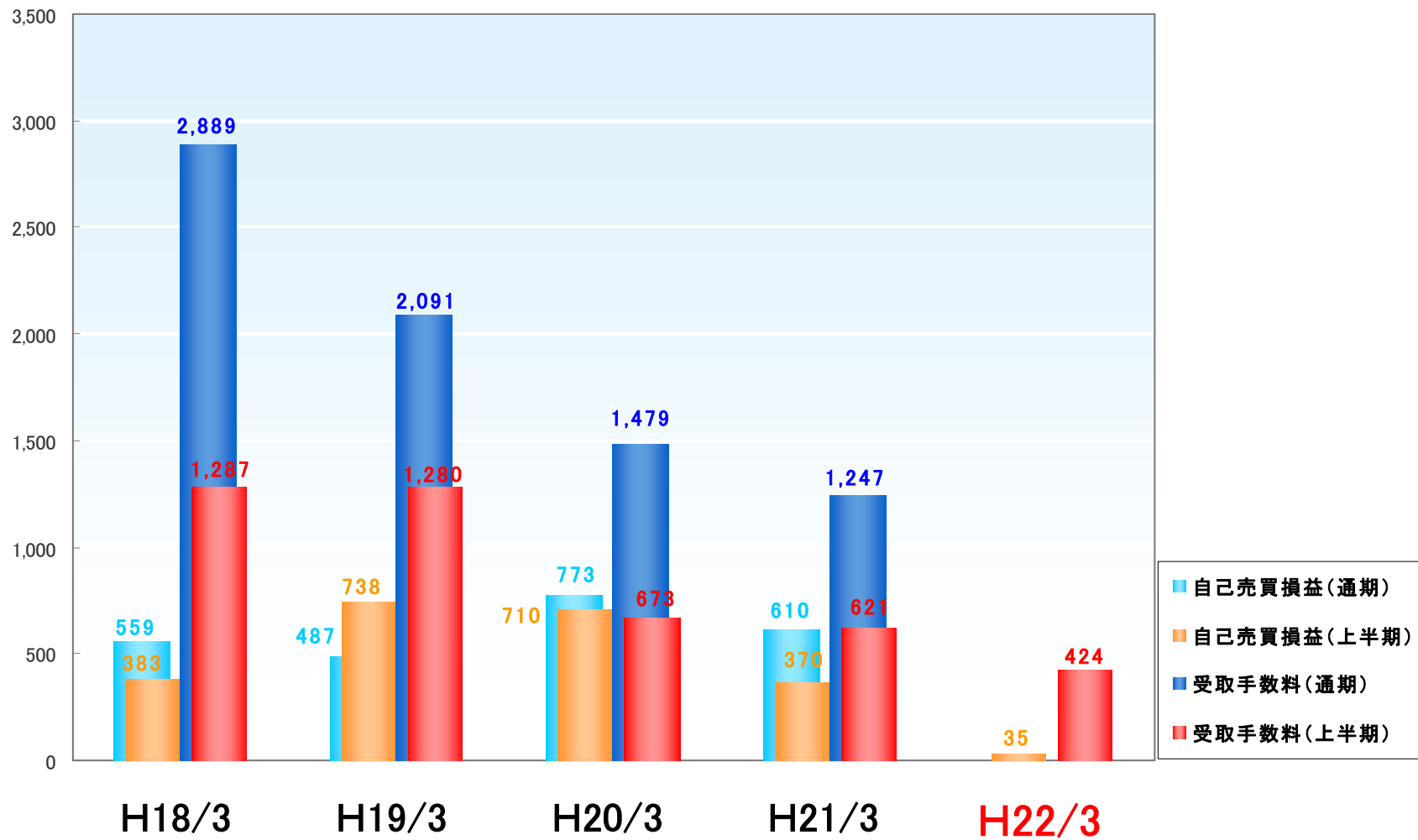
業績推移（連結）

単位:百万円



＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)

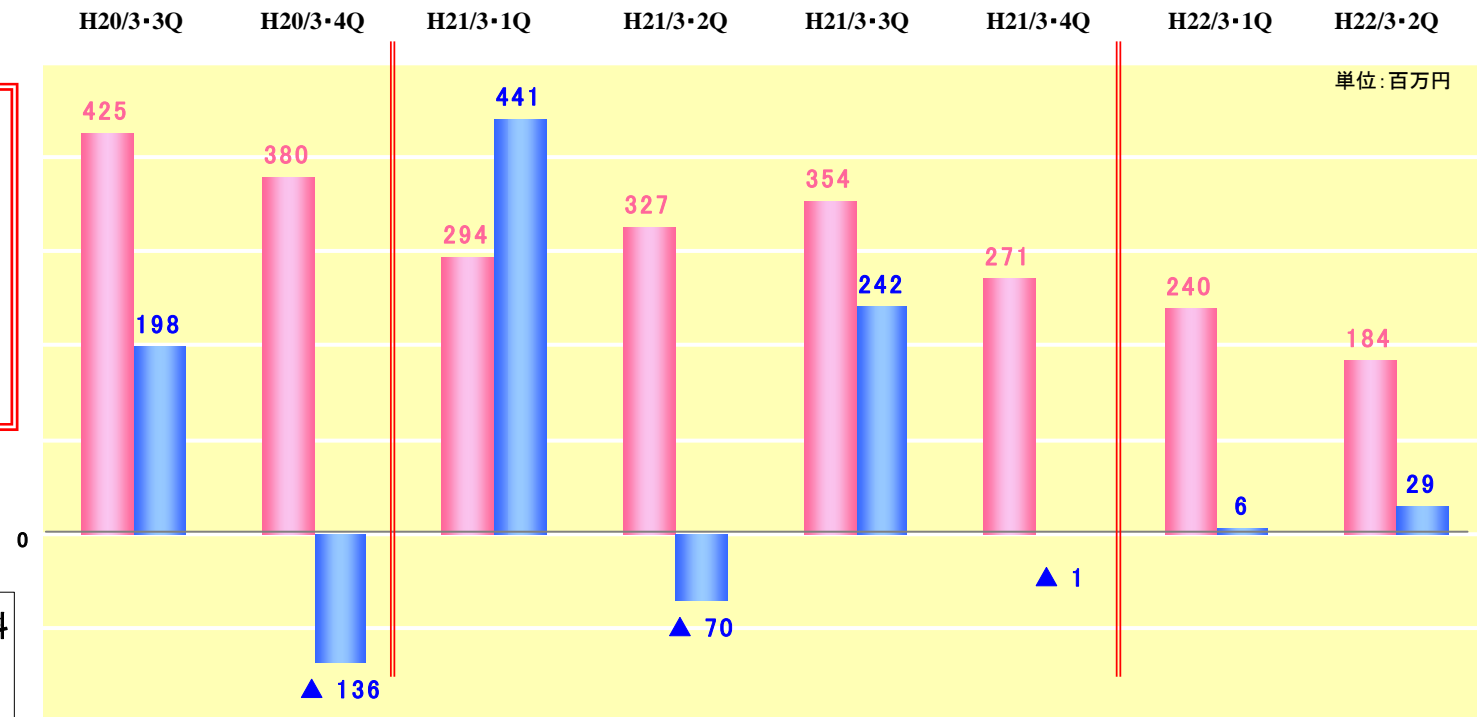
単位:百万円



＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移（連結）

当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動しております。

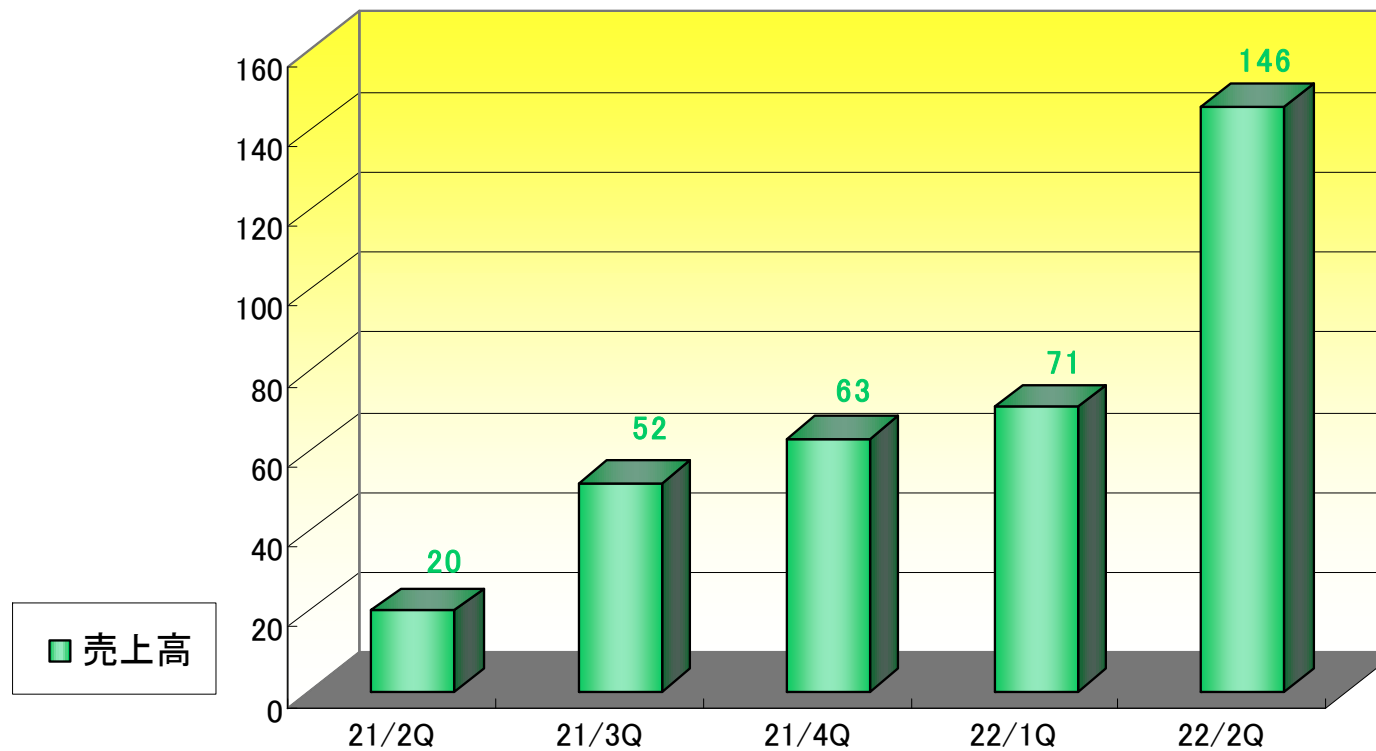
■ 受取手数料
■ 売買損益



(単位: 百万円)	H20/3 3Q	H20/3 4Q	H21/3 1Q	H21/3 2Q	H21/3 3Q	H21/3 4Q	H22/3 1Q	H22/3 2Q
受取手数料	426	382	297	332	361	278	250	184
商品先物取引	425	380	294	327	354	271	240	184
商品ファンド	—	—	—	—	—	0.02	—	—
生損保の募集	(0.7)	(1.7)	(3.2)	(5.2)	(6.7)	(7.1)	(9.7)	(8.5)
売買損益	198	△ 136	441	△ 70	242	△ 1	6	29
商品先物取引	198	△ 136	441	△ 70	242	△ 1	6	29

＜エコ&エコ＞四半期営業収益の推移

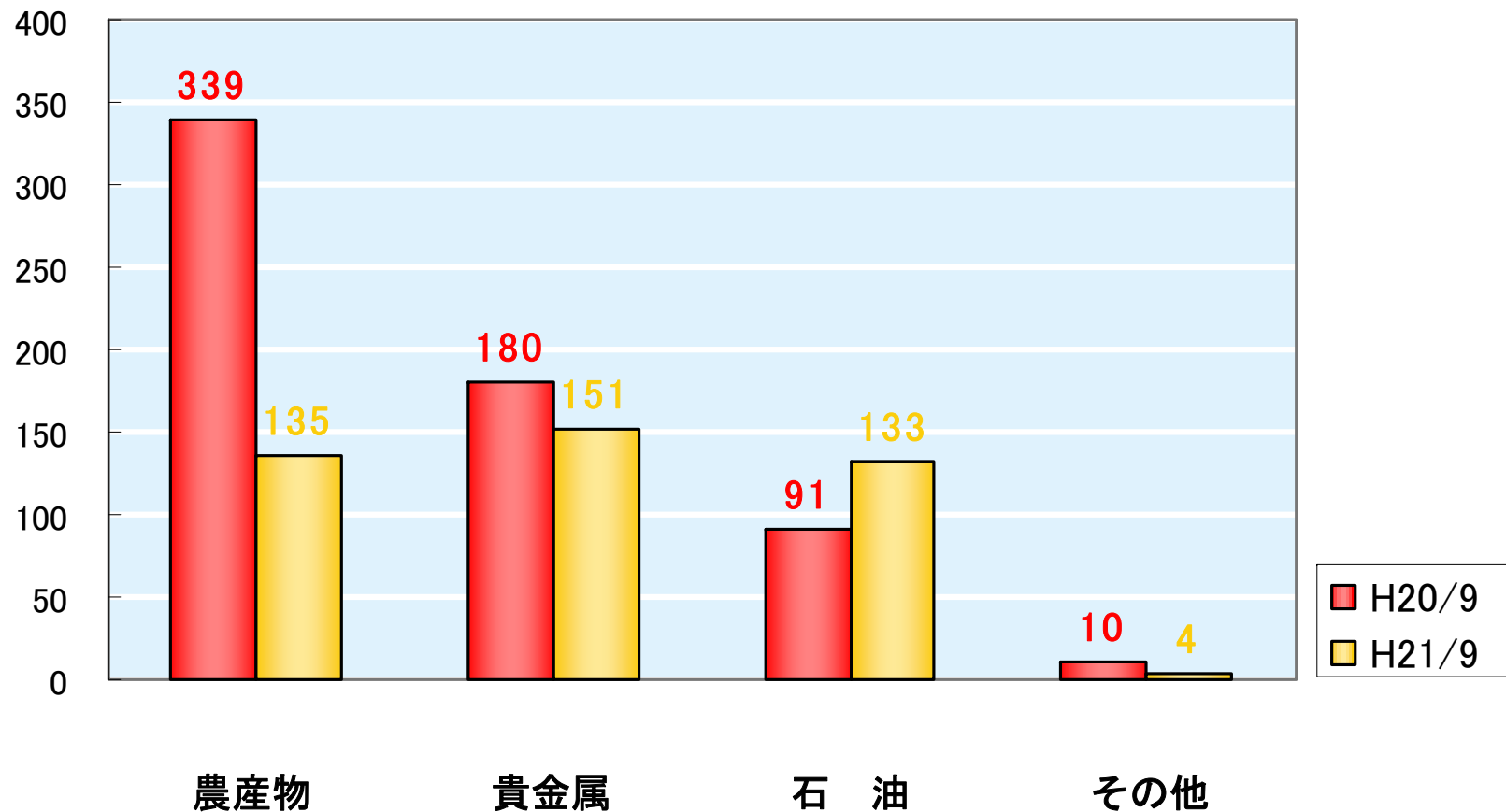
単位：百万円



(単位：百万円)	H21/3 2Q	H21/3 3Q	H21/3 4Q	H22/3 1Q	H22/3 2Q
売上高	20	52	63	71	146

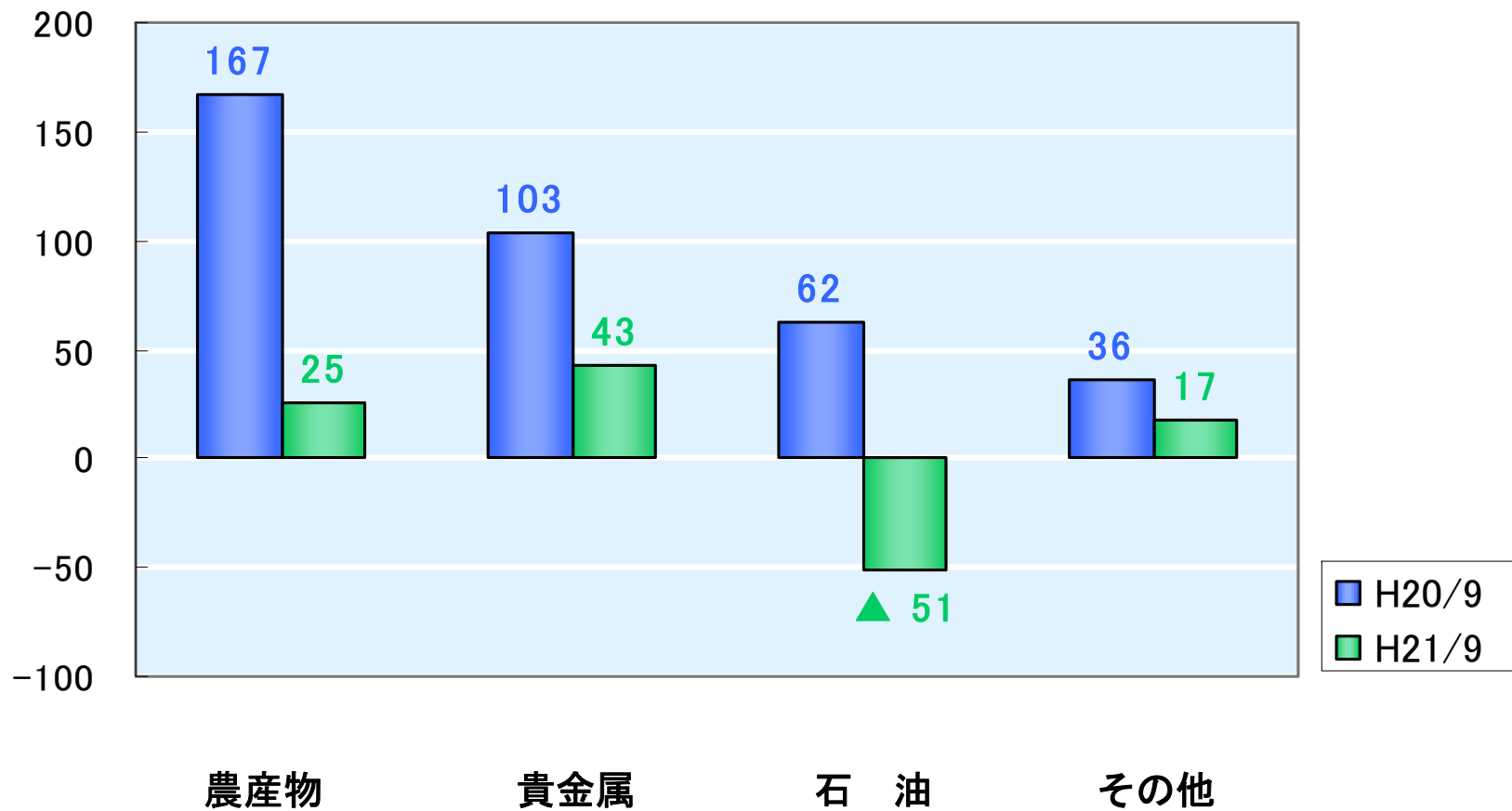
<商品先物取引> 受取手数料の市場別内訳(連結)

単位:百万円



＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳（連結）

単位：百万円



平成22年3月期業績予想について



平成22年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円)	営業収益	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
21年3月期通期実績	2,018	△ 467	△ 392	△ 477	△ 69.57円
22年3月期通期予想	1,840	△ 689	△ 629	△ 638	△ 93.00円
22年3月期第2四半期実績	697	△ 507	△ 476	△ 482	△ 70.38円

当社グループは上半期の実績及び現在の市場環境等から、下半期業績の大幅な改善は見込めないものと判断し、下半期の投資関連サービス事業に係る営業収益を概ね前年同期比30%減と想定いたしました。また、これに伴い、商品先物取引業務については、一層の効率化、スリム化を進める予定であり、今期の投資関連サービス事業の営業費用は1,800百万円以内(前期比21.4%減)とする方針であります。

なお、下半期においては、当社従業員(商品先物取引部門)の子会社(株)エコ&エコへの出向、当社本社ビル1階での(株)エコ&エコ新宿店(京セラソーラーFC新宿)の開設(10月23日オープン)など、グループ内での人材、不動産などの有効活用を進めると共に、投資関連サービス事業においても、商品先物取引、保険募集業務に加え、新たに金融商品仲介業を10月5日から開始しており、お客様のニーズに合った、顧客満足度の高い営業を進めてまいります。

(注)上記予想は発表日現在入手できる情報並びに不確実要因に係る仮定に基づくものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

当社グループの取り組み

1. 商品先物取引業の収支バランス回復

- ・人件費を中心とした営業費用の一層の削減
- ・支店及び子会社の統合や規模縮小等の検討・実施

2. 太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業の拡大

- ・当社本社1階にエコ&エコ新宿店(京セラソーラーFC新宿)を10月23日にオープン
- ・グループ内の人材投入等により、人員体制も強化

3. 保険募集業務の営業体制の拡大

引き続き営業体制の整備を進め、当社の安定収益源に育成

4. 取扱商品の拡大

顧客ニーズに合った取扱商品の拡大により、顧客層の拡大と収益の維持向上を図る(10月より金融商品仲介業務を開始)



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail: keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp